

火事ですか？ 救急ですか？

119番は、あなたと消防をつなぐ大切なホットラインです！



昨年の救急搬送患者数が過去最多に

平成27年中のひたちなか・東海広域事務組合消防本部管内(東海村・ひたちなか市)における救急出動件数は7,150件(前年度比366件増)、搬送患者数は6,540人(前年度比339人増)で、1日平均約20件の救急要請があり、いずれも過去最高となりました。

特に、65歳以上の高齢者が搬送される割合が増えており、ほかの年齢層に比べて、入院を必要とするケースが多いのが特徴となっています。

体調が悪くなったら、早めにかかりつけ医師に相談したり、転倒等の事故を防いだりすることで、救急車を呼ぶような病気や大きなけがをしないよう「**予防救急**」に心掛けましょう。



救急車を呼ぶときの電話番号は「119番」

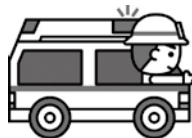
けがをしたり、急に具合が悪くなったりしても、慌てずに対応しましょう。▽呼び掛けても反応がない▽普通に話せない▽声が出せない▽顔色が悪い▽冷や汗をかいている——などの場合には、ためらわずに119番で救急車を呼び、応急手当を行ってください。



命を救うためには、応急手当が重要です

救急車が到着するまでにはどうしても時間がかかります。いざというときのために、正しい応急手当を身に付けておきましょう。

消防署では**応急手当の講習会の申し込みを受け付けています**。詳細は、**東海消防署(☎282-2038)**へお問い合わせください。



到着まで**平均7.9分**
(平成27年管内平均)

平成26年全国平均8.6分

救急車を
呼んだ場所

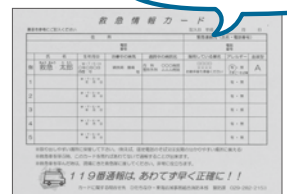
救急車が来るまでに用意しておく便利なもの

- ▽保険証・診察券 ▽お金 ▽靴 ▽普段飲んでいる薬(お薬手帳)
- 乳幼児の場合はさらに…
- ▽母子健康手帳 ▽おむつと着替え ▽ほ乳瓶とミルク ▽タオル

救急車が来たら、こんなことを伝えてください

▽事故の状況や体調が悪くなってから救急隊が到着するまでの様子 ▽行った応急手当の内容 ▽具合の悪い方の情報(持病やかかりつけの病院、普段飲んでいる薬や緊急時の連絡先等) ※「お薬手帳」や「救急情報カード」(右写真)に書いておき、救急隊に見せると慌てずスムーズです。

役場やコミュニティセンター、消防署等に備え付けてあります。



【問い合わせ】ひたちなが・東海広域事務組合消防本部警防課(☎282-2153)